

もとやま福祉会  
平成 26 年度事業報告書  
(H26. 4. 1～H27. 3. 31)

うむさ保育園

近年、育児休暇を取得する保護者が増え、4月当初は0歳児に定員割れが生じ、子供が1歳の誕生を迎えた頃から職場へ復帰する傾向があるため、1歳児の待機児童が年々増える傾向にあります。そのため、分園では0歳児の受け入れを見合わせ1歳児の受け入れ枠を増やしています。

1日の保育時間が10時間から11時間保育園で過ごす子供が増える傾向にあり1日の大半を園で過ごすことにより、ほとんどの原体験が園にあるといっても過言ではありません。

保護者の気持ちを受け止めつつ、ともに子どもの成長の喜びを共有し、子育て支援を行いました。

平成26年度は、1年間を通して計画的に講師の先生をお招きして園内研修を実施しました。

目指す子どもの姿を具体的に実現するために保育環境を整え、保育実践に努めてまいりました。

平成27年度も引き続き計画的な保育の実施、実施後の見直しなどPDCAサイクル実践を充実させていきます。

名護さくら保育園は、設立2年目を終了しました。

保育内容や事務、会計処理など、前年度と比較し検討することが出来るようになりました。

安全衛生、養護の充実を図るとともに保育環境を見直しながら、いま最も求められている幼児の教育もモンテッソーリ理論を基に進めております。

英語指導や楽器遊びなど幼児期の興味関心から言語や数・文化・科学・芸術など多彩な分野を取り入れた保育を展開し、又運動機能の発達を促進するため大型トランポリンの導入、リトミック指導、サッカーなどを取り入れて、バランス感覚や反射神経、身のこなしなど身体能力の発達に貢献し、ケガの予防にも繋がる保育を展開してきました。